

教務部より

津高校の学習指導の特色について

「目指す学校像」

- 「**自主・自律**」の校訓のもと、
高い知性と教養を持った
リーダーが育つ学校。

「自主・自律」

- 「**自主・自律**」というと、
行事や部活動のイメージ？
→ 学習面においても 「**自主・自律**」

津高校は・・・

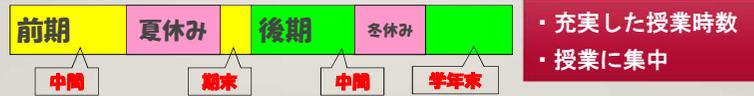
- ほとんどの生徒が大学進学を目指しています。
- 生徒会活動・部活動なども活発。
- 「二学期制」 「65分授業」
- 「類型制」 「選択制」

「二学期制」

「三学期制」では



「二学期制」では



その他、校内模試・確認テスト・校外模試【全員受験・希望者受験】等があります。

「65分授業」



※隔週で月曜日のみ6限

授業時間が65分あることで、

- ・実験や実習、授業にじっくり取り組みます。
- ・主体的に授業に参加し、グループ活動等で意見を交わし、考えを深めることができます。

「類型制」 「選択制」

- ・ 1学年では全員が同じ科目を学習 (芸術のみ選択)
- ・ 2学年から、類型Ⅰ (文系) と類型Ⅱ (理系) の2類型に分かれて学習
- ・ 3学年では、進路に応じた科目選択



ざくっと説明してきましたが…。

実際のところ

どうなんだ津高は??

どうなんだ津高は？

- 勉強が大変？(授業が速い?)
- 部活はがんばってる？
- 宿題が多い？
- 授業は楽しい？
- 類型・科目選択って？
- 自主・自律？
- ICTは？

Q：「勉強は大変？」

A：大変じゃない，と言ったらウソになる。

高い志望を持てばそれに見合う努力が必要なのは
どこの高校でも同じ。

津高校には高い志望を持った生徒が集まって
切磋琢磨し合う環境があります。

Q：「授業は速い？」

A：まあまあ速い，くらいだと思います。

(もちろん人によって感じ方は違います)

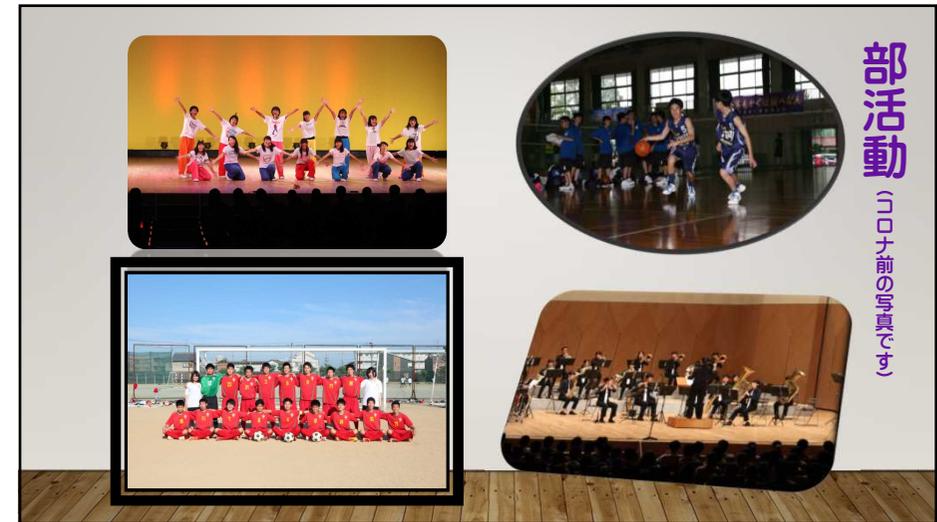
- そこまで心配する必要はない
- ただし，家庭学習が重要になる
(わからないところをほっておかない)

Q：「じゃあ部活をがんばるなんて無理？」

A：そんなことはありません。

部活動と勉強を両立することでタイムマネジメント力
が身につく，高い集中力を発揮できるようになります。

**充実した
高校生活！**



Q：「宿題（提出物）が多い？」

- A：「家庭学習が必要」 → ペースをつかむ
 「基礎・基本が大事」 → その定着を図る
 そのために、宿題を課すことがあります。
 が、むやみに多くならないように努めています。
 （じっくり勉強しよう！）
 例年、3年生ではほとんど提出課題は課され
 なくなります。（自主性を重んじている）

Q：「授業はどんな感じ？」

A：教科や担当の先生によってスタイルはさまざま。
クラシックな一斉授業もあれば、ICTをフル活用した授業もあります。
先生も生徒も前向きに取り組むのがいいところです。

授業の様子



各教室プロジェクター完備。



授業の様子



Q：「部活動・生徒会活動は活発？」

A：活発です。
多くの行事が、生徒主体で企画・立案・運営されます。

- ☞ 文化祭・体育祭・レク大・遠足・修学旅行
- ☞ 人権学習・SSHの取組
- ☞ 学校説明会（本日） etc.

Q：「類型制・選択制」って？

A：2年生で
類型Ⅰ（文系）・類型Ⅱ（理系）
 に分かります。

（令和4年度入学生から学習指導要領が改訂
 → 科目名が変わります）

1年生では…基本みんな同じ科目

1年生

【全員】現代の国語，言語文化，地理総合，
 歴史総合，数学Ⅰ・A・Ⅱ，化学基礎，
 生物基礎，体育，保健，
 芸術（音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰより選択），
 英語コミュニケーションⅠ，論理・表現Ⅰ，
 家庭基礎，SS探究活動Ⅰ

類型Ⅰ（文系）

2年生

【全員】現代国語探究（仮），
 古典探究，日本史探究，公共，
 数学Ⅱ・B・C，地学基礎，
 体育，保健，芸術（音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱより），
 英語コミュニケーションⅡ，論理・
 表現Ⅱ，SS探究活動Ⅱ

【選択】
 「地理探究」「世界史探究」
 から1つ

3年生

【全員】現代国語探究（仮），古典探究，
 体育，英語コミュニケーションⅢ，
 論理・表現Ⅲ，SS探究活動Ⅲ
 【選択】①「世界史」「日本史」
 「地理」「倫理＋政治経済」から2つ
 ②「化学総合」「生物総合」
 「地学総合」から2つ
 ③「数学」「芸術」から1つ

↑芸術系の進学希望者のみ

類型Ⅱ（理系）

2年生

【全員】現代国語探究（仮），
 古典探究，地理探究，公共，
 数学ⅡⅢBC，化学，体育，
 保健，英語コミュニケーションⅡ，
 論理・表現Ⅱ，SS探究活動Ⅱ

【選択】
 「物理基礎＋物理」
 「物理基礎＋生物」
 「地学基礎＋生物」から1つ

3年生

【全員】現代国語探究（仮），
 古典探究，地理探究，数学ⅢC，
 数学探究，化学，体育，
 英語コミュニケーションⅢ，
 論理・表現Ⅲ，SS探究活動Ⅲ

【選択】
 「物理」「生物」から1つ

Q：「選択制」といいながらかなりシンプルなんですねー。

A：そうですね。（「硬派」なカリキュラム）

- ☞ 文系でも基本的に3年生まで数学がある（芸術進学をのぞく）。
- ☞ 理系は全員「数学Ⅲ」を履修する。

「5教科型（6教科型？）で最後までがんばろうー」
（総合力で勝負！）
というのが基本的な考え方

Q：「私立文系」志望を考えてます…。という人は？

- A：国公立志望者が多いのは確かですが、もちろん「私立文系」志望もOKです。
（ただし、私立文系専用のコースは、ありません）
- ☞ 「科目を絞る」ことはオススメしていません。
 - ☞ 「共通テスト利用入試」を考えても科目数を絞ることは得策ではない、と考えます。

やっぱり 総合力!!

入試はゴールじゃない。
幅広い知識を。

Q：「自主・自律というけどどうなの？」

A：

「**自主・自律**」を校訓としていますので、あえて手厚くし過ぎない、という部分があります。
（自ら動く！ということを求めます）

Q：「手厚くし過ぎてもらうくらいがいいんですけど？」

A：

自ら動く経験をしないと、卒業後にギャップで苦しむことになる。
⇒ 津高校で「主体的に動く力」を身に付けよう！

Q：「フォローしてもらえます？」

A：
勉強で困ったら遠慮なく先生にききに行こう！
先生方は「質問ウェルカム！」な人ばかり。
受験期には希望者に個別で添削指導等もおこなっています。
また、面接指導等もおこなっています。
(がんばるみなさんをサポートする体制はバッチリ)

Q：「フォローしてもらえます？」

A：「面談週間」を設けたり、ときには「プチ面談」をしたりと、担任の先生と個別に話しをする場面を設定。
困ったことがあればいつでも相談オーケーです。

Q：「ICT関係は？」

A：来年度の入学生から一人1台の端末を購入していただきます（←これは全ての県立高校で共通）。
⇒ 有効に使う方法を模索中！（より充実した授業に…）
⇒ みなさんにできるだけ自由に使ってもらえるようにしたいと考えています（「制限」は、必要最低限に）
⇒ ワクワクしたい



生徒1人1台端末を活用した学習を進めます！

県立学校(高校、特別支援学校(高等部))入学時に学習端末※の購入をお願いします。

目的に応じた使い方ができる
思考を深めやすくなる
多様な考え方に挑戦することができる

一人ひとりの学びが広がる
一人ひとりに応じた学習が可能になる

文科科学では、原則、年毎の1人1台端末と、選択大得意の連携ネットワークを一体的に提供するGIGAスクール構想を推進しており、県内の小中学校では、令和3年度から1人1台端末を活用した授業が進んでいます。
高校においては、令和4年度から学習指導要領が新しくなり、ICT(情報通信技術)を活用した学習活動を充実させることが示されています。そのため、令和4年度以降の入学生から、保護者のご負担で学習端末を購入していただき、学習活動を進めていくこととしました。
今後、授業において、一人ひとりの特性や到達度に応じた「個別最適な学び」や、多様な履修を希望する生徒が選んでいく「協働的な学び」を効果的に進めるとともに、家庭において、学校が切れ目なくつなげる新たな学びを推進していきます。
保護者の皆さまには、ご負担をおかけすることになりますが、1人1台端末を活用した学習活動の機会をご提供いただき、ご協力をお願いします。

※ 規格は、OS:Windowsを標準とし、メモリ:4GB以上、ストレージ:32GB以上の仕様を基本とさせていただきます。特別支援学校は、科目ごとの授業内容や、学校によって異なる学習環境や導入、活用方法についての留意点があります。

ICTを活用した取組事例

県立名張青峰高校

授業中から分らないことを調べたり、協力して課題を解決したりするなど、日常的に1人1台端末を使用するが、配属される課題で難しに学習を進めている。

また、海外研修校とのオンライン交流や、経済産業省など、グローバルな企業と連携し、行う学習活動にも取り組んでいます。

県立松阪工業高校

英語の授業の最後に、1人1台端末を使用した小テストを実施しています。個別の学習内容を確認することができるので、分らなかった問題の振り返りができています。

また、教員が学習履歴を確認することで、生徒が学習に活用しています。

＜グループでの共同編集＞ ＜端末を使用した個別学習＞

Q&A

Q1 すべての県立高校が同じ学習端末を使用するのですか。
A1 普通科や専門学科等の違いによって異なる学習端末を選定する場合があります。

Q2 各県立高校で使用する学習端末の情報は、どのようにして知ることができますか。
A2 種類等の詳細は、11月頃に県教育委員会HP(表記QRコード)に掲載します。

Q3 学習端末は、個人で事前に購入しておいた方がよいですか。
A3 現在、保護者のご負担をできる限り軽減できる購入方法を検討していますが、入学前に準備いただく必要はありません。機種や購入に関する情報は教育委員会HP(上記QRコード)に掲載しますが、購入方法については、3月の自治体発表会(各県庁)が改めて説明します。

Q4 経済的な事情で、学習端末を購入することができない場合は、どうすればよいですか。
A4 高校生等奨学給付金(奨学給付金)等でも、学習端末を購入することができない家庭の生徒に対しては、すでに県立高校に整備している学習端末を貸与する予定です。

Q5 学習端末は家庭で自由に使用することができますか。
A5 できます。ただし、各学習端末に購入予定の管理ソフトにより、不適切なサイトへの接続や、有害なファイルのダウンロードには制限がかかります。なお、充電は各県庁で行っていただきます。(特別支援学校は学校により対応が異なります。)

Q6 すでに購入して所有している学習端末を県立高校で使用することは可能ですか。
A6 可能です(一定の条件を満たす場合)。詳細は、進学決定後に各校にご確認ください。

Q7 家庭での通信料は、誰が負担するのですか。
A7 各家庭でご負担をお願いします。

Q8 高校生等奨学給付金(奨学給付金)には、通信料相当として年間2,000円を含まれた額が給付されます。

Q9 特別支援学校高等部に選定する場合は購入等はどうなりますか。
A9 特別支援学校で使用する学習端末は、特別支援教育実践学級費※2の対象となります。購入方法等については、進学先の学校にご確認ください。

※1 教育委員会HP(上記QRコード)から県の「県立特別支援学校等」に関するリンク先が掲載されています。※2 教育委員会HP(上記QRコード)から「特別支援教育実践学級費」に関するリンク先が掲載されています。

＜問合せ先＞ 高校教務課 TEL: 059-224-3032 特別支援教務課 TEL: 059-224-2961

こんなチラシが配られたと思います。

Q&A

Q 1 すべての県立高校が同じ学習端末を使用するのですか。

A 1 普通科や専門学科等の違いによって異なる学習端末を選定する場合があります。

Q 2 各県立高校で使用する学習端末の情報は、どのようにして知ることができますか。

A 2 機種等の詳細は、11月頃に県教育委員会HP(右記QRコード)に掲載します。



Q 3 学習端末は、個人で事前に購入しておいた方がよいですか。

A 3 現在、保護者のご負担をできる限り軽減できる購入方法を検討していますので、入学前にご準備いただく必要はありません。機種や購入に関する情報は教育委員会HP(上記QRコード)に掲載しますが、購入方法については、3月の合格発表後に各学校から改めて連絡します。

詳しくは11月ごろにホームページでお知らせする予定です。

Q: 「津高のいいところって?」

- ・ 高い志望を持った生徒が集まって切磋琢磨し合う環境
(同じ方向を向いてみんなでがんばれる雰囲気)
- ・ 部活・行事等充実した高校生活
- ・ 「自主・自律」自主性を発揮する場面が多いこと
- ・ 熱心な先生がたくさんいること etc.



桜の咲くころ

皆さんに会える日を楽しみにしています。